



福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和55年に設立した在宅サービス提供機関です。

誌名「羅針盤」はご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を表したものです。

秋涼きざし、秋風が立つ夜長月となりました。
九月の花は萩、その花言葉は「誠意」です。
敬老の日になみ、人生の先輩への敬意と誠意を以て、様々な行事が予定されています。
夏の疲れが出やすい季節ですが、どうぞ、お元気でご参加ください。



<紙面から>

権利擁護事業運営監視委員会報告	・・・1ページ
権利擁護センターサービス紹介	・・・2ページ
囲碁将棋大会 北町デイボランティア納涼会・ 高齢者センターデイサービス夏祭り	・・・3ページ
お知らせ・リレーコラム	・・・4ページ

平成28年度 第1回 権利擁護事業運営監視委員会報告

7月22日に運営監視委員会を開催しました。

委員会の冒頭、萱場理事長は「成年後見人による不正の報道が散見される中、運営監視委員の協力で事業の健全性を維持したい」と述べました。権利擁護センターでは平成12年の事業開始以来、第三者機関である運営監視委員会を設置し業務の適正な執行に努めています。

次に、亀田委員から7月12日に本年1月から6月までの新規契約者の保管物、成年後見・金銭管理支援・権利擁護・地域福祉権利擁護・つながりサポートの各事業による全ての出納と伝票をチェックし、適正な事務執行を確認した旨の報告がありました。件数は前回の2,603件から2,994件に増加しました。

引き続き事業統計、利用者状況等の説明が行われ、委員からは出納件数増加に対する対応、老いじたく講座を契機とした新規利用者について、つながりサポートに類似する民間サービスとの関係等の質問が出されました。委員長講評は委員意見を基に今後も適切に事務処理を求めるとのことでした。

権利擁護センターは運営監視委員会の監督指導を尊重し、不断の自己点検を怠らずに、今後も市民の皆様に安心してサービスをご利用いただけるよう鋭意努力いたします。

運営監視委員会委員

委員長	棚橋正尚	元武蔵野市高齢者福祉課長
副委員長	小原光文	NPO 法人ミュー事務局長 (新任 右から二人目)
委員	矢島和美	武蔵野市民生児童委員協議会 第一地区会長
委員	亀田義治	税理士
委員	勅使康友	司法書士(リーガルサポート) (新任 左端)



これだ！つながりサポートの使い方 ～没後支援サービス～

伝統の有償在宅福祉サービスに代わり、新たに開始されたサービス「つながりサポート」。つながりサポートは定期的な見守り訪問の他、緊急時支援や没後支援等もおこないます。今回はご利用を検討されている方のご参考に、公社の権利擁護利用センターが提供するつながりサポートの「没後支援サービス」について、その内容やご利用者の声をご紹介します。



ひとり暮らしで、親族もいないし老後が心配。何かあった時にどうしよう。お墓のこともあるし、特に没後については気になるわ…

ご安心ください！



Aさんの例

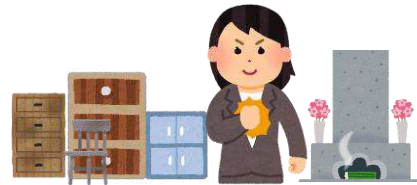
Aさんは85歳の一人暮らし。ご親族がいないため、緊急時の対応や定期的な見守りを希望なされ、昨年からつながりサポート事業を利用されています。

今年に入り、Aさんから「没後のことにも備えておきたい」とのご希望があり、つながりサポートのサービスのひとつである「没後支援サービス」の契約に向けて準備を始めました。Aさんのご希望を形にするため、担当者はAさんと話し合いを重ね、葬儀業者や家財道具の整理業者の選定を行い、没後に必要な手続きを明確にしていきました。また、Aさんは納骨について「慣れ親しんだ武蔵野市に納骨して欲しい」というご希望があったので、永代供養墓の選定もお手伝いしました。

その後無事に没後支援サービスの契約を締結し、葬儀・没後マネジメント、家財整理などに必要な預託金を公社でお預かりしました。



Aさんに伺いました！



Q つながりサポートについて…特に「没後支援サービス」をご契約なされ、いかがですか？

A とっても安心しました。実は、公社以外の没後のお手伝いをしてくれる会社の資料を集めたり、説明会に参加したりしていましたが、どこも「安心して任せたい」という気持ちにはなれませんでした。そんな時、市報で公社のサービスを知り「これだ！」と思いました。専任の職員さんが丁寧に没後の希望を聞いてくださり、お墓のことや没後の手続きのことなど、私の希望に沿った内容を提案してくれて、とても満足しています。

※没後支援サービスは「葬儀に関すること」「没後のマネジメント」「家財道具の整理」の3つのサービスで構成されています。サービス毎に預託金を公社の無利息口座でお預かりし、必要額を支払った後、残額を相続人等に引き渡します。

Q 没後支援サービスの3つのサービスの内容はいかがですか？

A “かゆいところに手が届く”という印象です。葬儀や納骨のことは、事前に決めておかなくてとは思っていましたが、家財道具の整理や没後の手続きについては漠然とした不安があるだけでした。没後支援サービスは「何を公社さんに依頼しているか」が明確になっているサービスなので、今は漠然とした不安もありません。すっきりしています。

つながりサポートの支援内容は、ご利用者それぞれの生活、ご希望に沿って、個別的に構成します。その方にベストマッチの内容で、日々の安心した生活が送れるように支援します。

お気軽に、権利擁護センター（☎23-1165）までお問い合わせください。





高齢者総合センター 恒例 納涼 囲碁将棋大会開催

7月22日に納涼将棋大会、29日に囲碁大会が開催されました。

将棋大会には24名、囲碁大会には70名のご参加をいただきました。

最近、囲碁・将棋ソフトの能力が向上し人間を凌駕していますが、ご参加者誰もが和気あいあいと対局を楽しみ、親睦を深めるヒューマンな姿が、ここにはありました。

優勝は将棋大会では藤本登志和氏、囲碁大会では4段以上の部が越谷信行氏、3段以下初段までの部が藤本登志和氏、1級以下の部が櫻井英雄氏でした。おめでとうございます。

3階の囲碁将棋コーナーは、市内各所から同好の士が集い、昨年度は延べ12,103名が利用なさいました。人生100年時代に向け、認知症予防と社会とのつながりを維持する有益な場となっています。皆様のご利用をお待ちしております。



北町高齢者センター ボランティア納涼会



北町高齢者センターは、多くの市民ボランティアの皆様を支えられ運営されています。

昨年度は延べ3,815名が様々な場で活動されました。有難うございました。

ご活躍に感謝を込めて、7月23日に納涼会を開催し、29名が参加されました。

前半ではグループワークを行い、はなみずき祭の内容、自分が通いたいデイサービスの姿、来年度に予定されている拡大デイサービスに関する意見を出し合い、各班から光るアイデアが集まりました。

後半の会食では和気あいあいと話が弾み、親睦を深めました。ボランティアさん達は伝統のピンクのエプロンでつながるころのかよい合う、温かい仲間同士です。

福祉公社は今後もボランティアの皆様と心ひとつに、センターを運営いたします。



高齢者総合センターデイサービスセンター



盛況！ 夏祭り



地域に開かれたデイサービスとして、8月31日、5階ホールにご利用者、ご家族、ボランティアの皆様、近隣のお母さんとお子さん達、総計138名が参集して夏祭りを楽しみました。

お祭り気分を盛り上げる数々の模擬店、午後からのふれあいイベントー子ども神輿の渡御、ご利用者と子どもたちによる勝ち抜きじゃんけん大会。

そして和太鼓 SOH による荒馬踊りの演舞と勇壮な組太鼓、打ち手が全身全霊を込め、来場者の魂に響くパフォーマンスに、毎年のことながら、深い感動を覚えます。

最後は全員で輪になっての盆踊りです。車椅子のご利用者を中心に踊りの輪を作り、古原師匠の三味線と SOH の太鼓のリズムに合わせて、ご利用者が代わる代わるの歌い、杉淵師匠の音頭で東京音頭と炭坑節を踊り、往く夏を見送りました。

帰りの車中で、「疲れたけど、とっても楽しかったわ」

「来年も元気で参加できるといいわね」と99歳と

97歳のご利用者が語り合っていました。



会社からのお知らせ

❀ どなた様も、お誘いあわせの上、おいでください。心よりお待ち申し上げます ❀

コミュニティカフェ 開催

日時 9月23日(金) 11時から13時30分
場所 高齢者総合センター 1階、西側敷地
内容 カフェ、ラスク・パン販売、展示など
問合せ 高齢者総合センター ☎51-1975

秋の風物詩 はなみずき祭

日時 10月15日(土) 10時から14時
場所 北町高齢者センター1・2階
内容 バザー、作品展、軽食販売など
問合せ 北町高齢者センター ☎54-5300

家族介護支援教室 みどりの輪

～ 知って得する排泄の話し ～

日時 9月23日(金) 14時から15時
場所 高齢者総合センター 1階ダイルーム
問合せ 在宅介護支援・地域包括支援センター
申込 ☎51-1974



エンディングノートの書き方講座

日時 9月14日(水) 13時30分から15時
場所 福祉公社1階会議室

老いじたくの基礎知識講座

日時 9月26日(月) 13時30分から15時
場所 福祉公社1階会議室
問合せ・申込 権利擁護センター ☎23-1165



職員リレーコラム

第16回 《 ピアノ 》

高齢者総合センター 加藤 節子

夏休みに入って二日目、息子のピアノ発表会がありました。息子は小学校3年生で、1年の春からピアノを始め、今回で2度目の発表会です。曲は、トルコ行進曲(ベートーベン)、アラバスク(ブルグミュラー)の2曲でした。練習嫌いなので、弾いても週に2回～3回(1回で10分～15分がやっと)。勿論、発表会が近づいても毎日練習するということはありませんでした。ピアノを始めたのは、親の私が勧めたからです。ピアノが弾けるようになれば、いつか好きな曲を耳にした時に、その曲を自分でも弾くことができ、楽しめるだろう、とか、友達とバンドを組むこともできるだろう…。そんな風に思ったからです。そんな親の思いが伝わったか、大好きなゲームのBGMの楽譜が欲しいと言い出し、取り寄せると早速一生懸命練習していました(今の技量では殆ど弾けず、右手だけなんとか音符を追っていた程度ですが)。発表会本番では少し緊張した様子でしたが、間違えながらもしっかりと鍵盤を押さえて良い音が出ていました。又、丁寧に弾いていたのでほっとしました。仕事のため、発表会の様子はビデオで見ましたが、来年は是非会場で息子のピアノの音を聴きたいと思っています。

⇒ 次回は 北町高齢者センター 富田 尚美



編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社 次号は平成28年10月7日発行予定です



武蔵野市福祉公社・ホームヘルプセンター武蔵野

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

バス停「武蔵野八幡宮前」下車

☎0422-23-1165 (総務課、在宅サービス課)

☎0422-23-2611 (ホームヘルプセンター武蔵野)

武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1

バス停「武蔵野住宅」下車

☎0422-51-1975 (管理・社会活動センター)

☎0422-51-1974 (在宅介護支援・補助器具センター)

☎0422-51-2933 (デイサービスセンター)

武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

☎0422-54-5300 バス停「北町四丁目」から徒歩三分

業務時間 8:30~17:15 (全て共通)

福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikosha.jp/>